

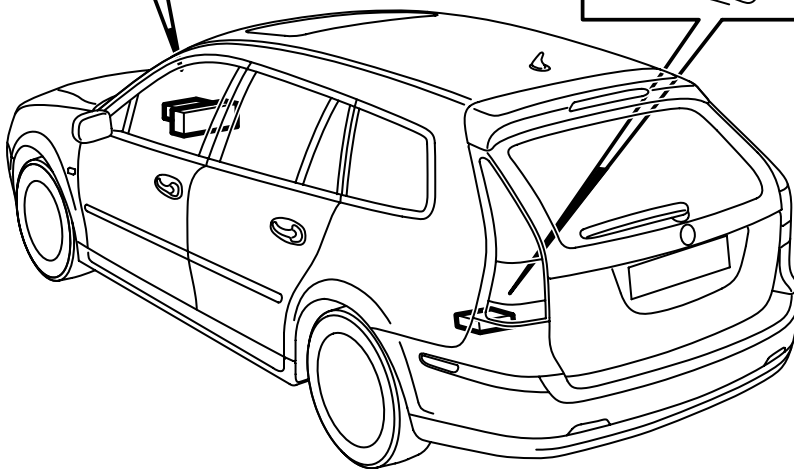
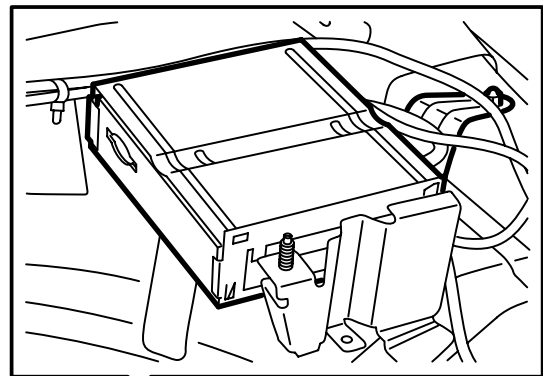
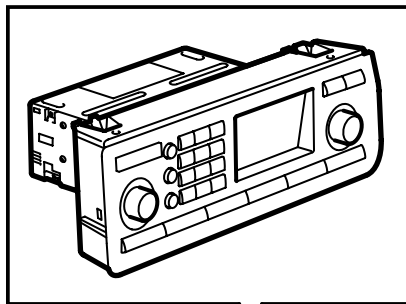


**MONTERINGSANVISNING · INSTALLATION INSTRUCTIONS
MONTAGEANLEITUNG · INSTRUCTIONS DE MONTAGE**

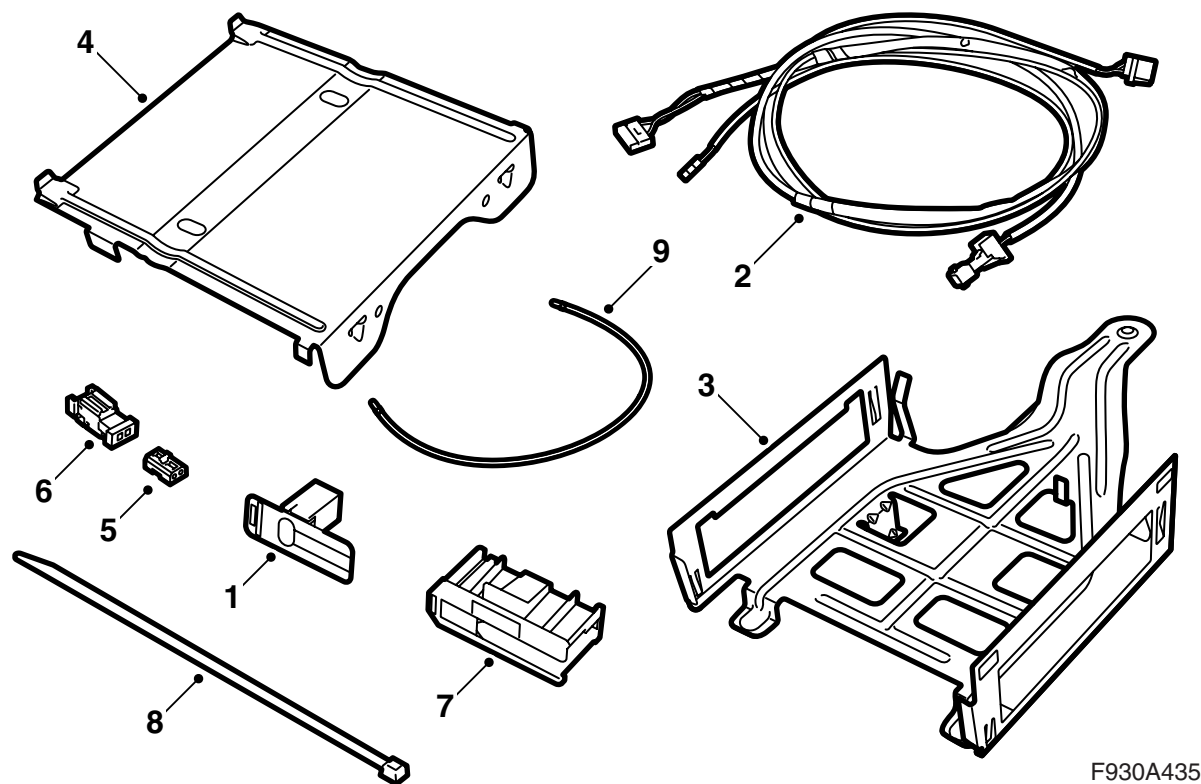
Saab 9-3 5D M05-

一体型電話

| Accessories Part No. | Group | Date | Instruction Part No. | Replaces |
|----------------------|---------|--------|----------------------|----------|
| 32 025 679 | 9:39-14 | Sep 05 | 32 025 678 | |



F930A434



F930A435

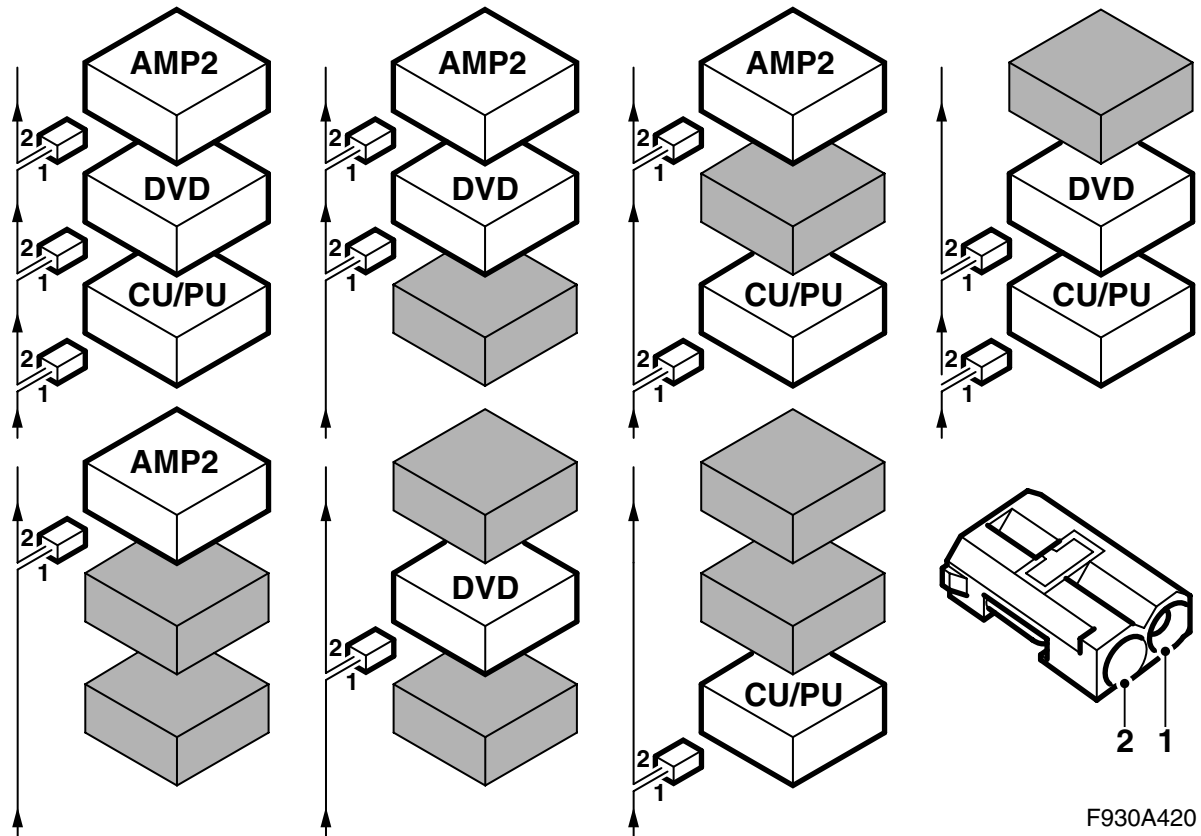
基本キット

- 1 ブルートゥース用アンテナ
- 2 ワイヤハーネス
- 3 コンソール、下部
- 4 コンソール、上部
- 5 光ファイバーコネクタ (x2)
- 6 光ファイバーコネクタ
- 7 コネクタケース
- 8 ケーブルタイ (x15)
- 9 光ファイバーケーブル (x2)

車両の装備レベルによって、キットに、以下の補助パーツが必要となる。

- テレマチックユニット (CU)
- コントロールパネル、インフォティメントユニット (ICM2)
- GSM アンテナケーブル
- 光ファイバーケーブル
- ブルートゥース用アンテナ

これらを別途注文すること。



バス通信

車の電気システムの多くの部品がバスを使って通信を行う。バス通信には、P-バス (Powertrain Bus、パワートレインバス)、I-バス (Instrument Bus、計器バス)、O-バス (Optic bus、オプティック (光学) バス) の 3 種類がある。オーディオシステムは、ナビゲーションシステムや電話システムなどと一緒に O-バスを介して通信を行う。

O-バスは光学式でありリングバスである。2本の光ファイバーケーブルがバス上にあるそれぞれの制御モジュールに接続されており、1本は受信用、もう1本は送信用である。受信したメッセージはそれぞれの制御モジュールで光信号から電気信号に変換され、送信時には光信号に再度変換される。O-バスのデータ転送速度は毎秒 25 メガビットである。

重要事項

O-バスに接続されているものは全て、特別な順序 (図を参照のこと) で接続され、リングがいつも閉じていることが非常に重要である。

この取り付け説明書にある記述以外の方法で接続すると、車の多くのシステムが機能なくなる結果を招く場合がある。

AMP2 は、右リアホイールハウジング横のアンプである。

CU/PU は、バックレスト後方にあるテレマチックユニットである。

DVD は、バックレスト後方にある DVD プレーヤーである。

O-バスに接続する新たな装備品の取り付けに際しては、既存装備品の正しい側に接続することが重要である。

重要事項

光ファイバーケーブルは、送信信号が妨害を受けないよう、注意深く取り扱うこと。

- コネクター内の2本のファイバーケーブルを取り間違えないように注意すること。
- ファイバーケーブルはスプライスできない (継ぐことができない)。
- ファイバーケーブルを半径 25 mm 以内の範囲で曲げてはならない。
- ファイバーケーブルを 85 °C 以上の高温にさらしてはならない。
- ファイバーケーブルの両端は汚れていてはならない。
- ファイバーケーブルに衝撃を与えないこと。透明なプラスチックの部分が白くなり、光度が低減して通信妨害を引き起こす恐れがある。
- ファイバーケーブルは尖ったものに接触しないようにすること。シグナルが弱まる恐れがある。

注記

ここに記載されたのと異なる取り外し/取り付け方法については、対応する WIS のセクションを参照のこと。

1 **ICM1 装備車**：診断ツールを接続し、車両からインフォティメントシステムのコントロールパネルを分離する。

ICM3 装備車：診断ツールを接続し、車両からテレマチックユニットを分離する。

重要事項

この制御モジュールは、静電気放電に敏感である。制御モジュール内部の構成部品が損傷しないように、部品の交換は以下の手順に従って慎重に行うこと。

- 手や衣服が絶対に制御モジュールのピンに触れないようにすること。
- 車のボディやエンジンに手を触れて、自分自身の体をアースする。車の制御モジュールのコネクターの接続を外す。
- 車のボディやエンジンに手を触れて、自分自身の体をアースする。車の制御モジュールのコネクターを接続する。
- 交換済の制御モジュールは、ピンに触れないように注意しながら返品用の梱包箱に入れる。
- 新しい制御モジュールは、できるだけ包装されたままの状態にしておく。

メニュー「全て」に進み、「追加 / 削除」の項で該当の制御モジュールを選択する。それから「削除」を選択し、後は指示に従う。このときイグニッションキーは ON の位置にしておくこと。TIS2000 の使用が必要となる場合がある。車から制御モジュールを分離するときには、イグニッションキーは OFF の位置でなければならない。この後なら、制御モジュールを取り外すことができる。

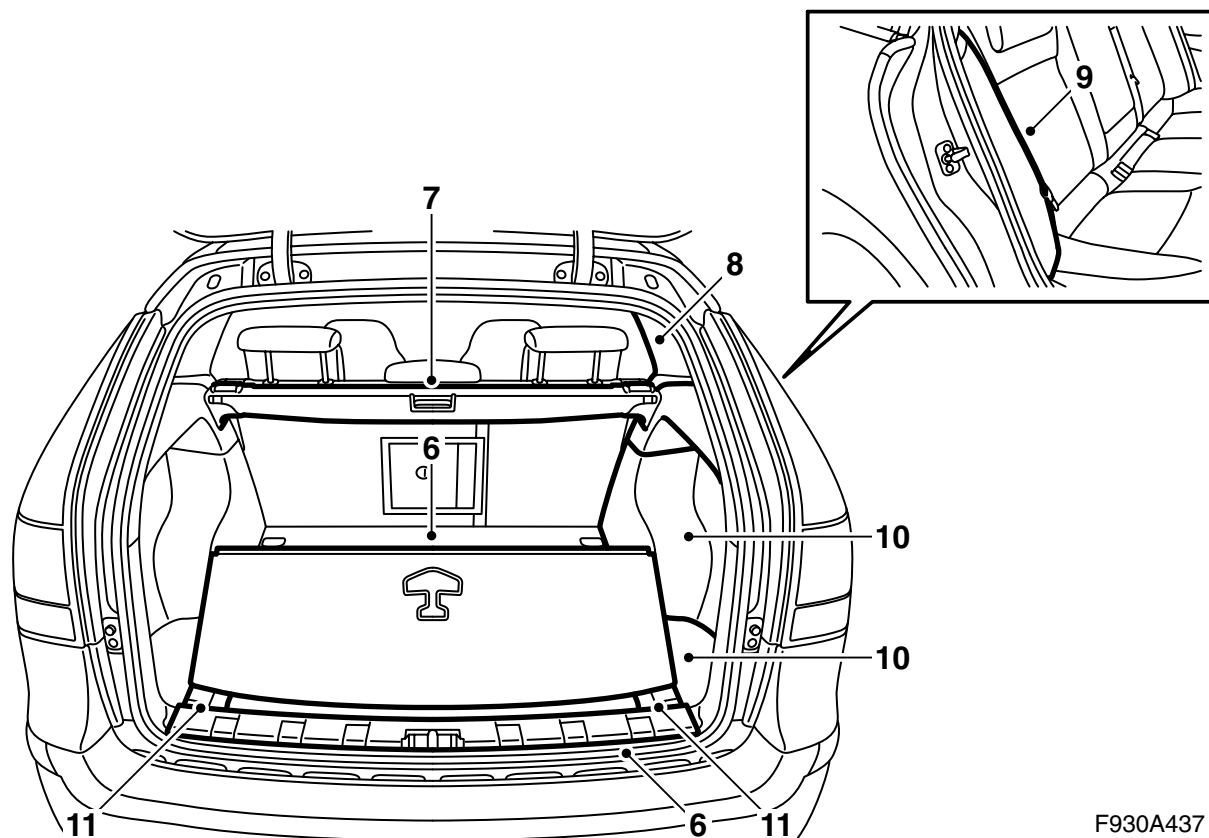
- 2 イグニッションスイッチからキーを抜く。
- 3 **ICM1 装備車**：インフォティメントシステム (ICM) のコントロールパネルを取り外す。

重要事項

光ファイバーケーブルは、送信シグナルが妨害を受けないよう、注意深く取り扱うこと。

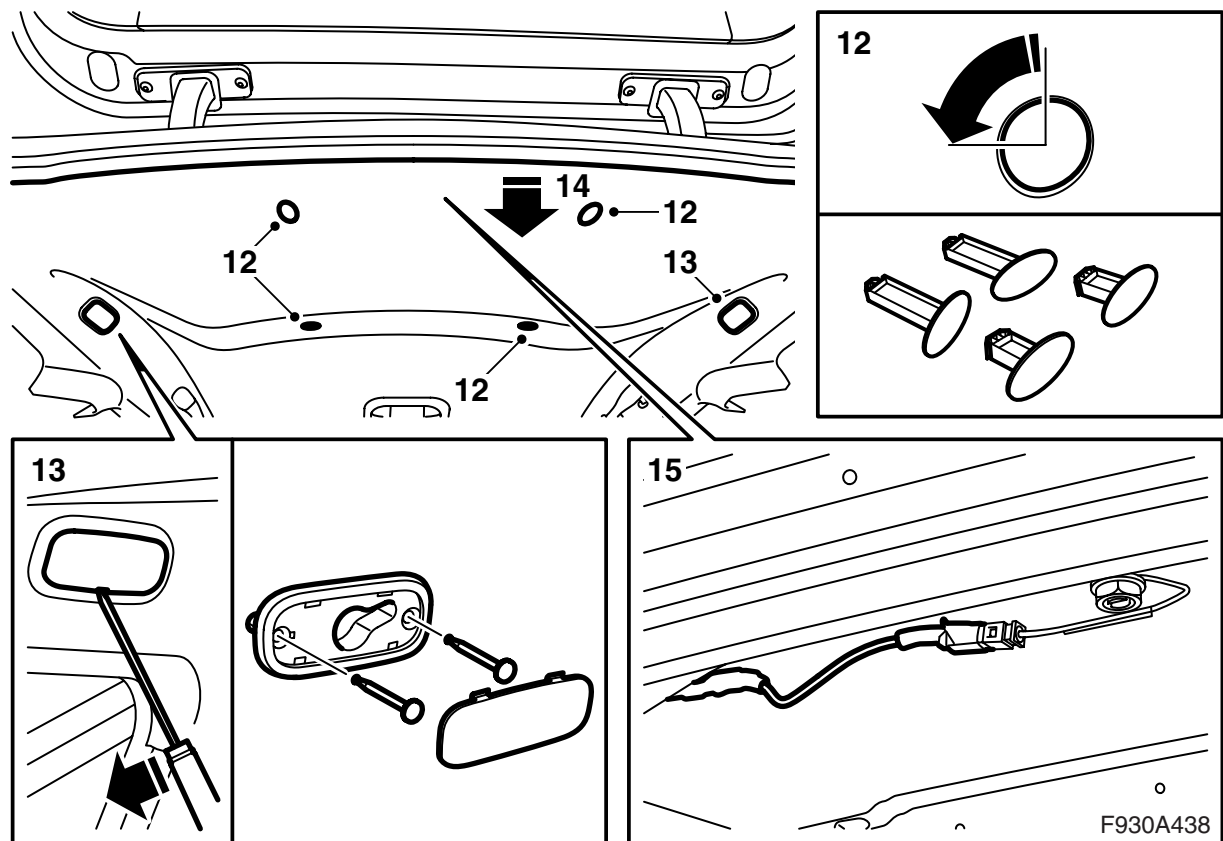
- ファイバーケーブルを半径 25 mm 以内の範囲で曲げてはならない。
- ファイバーケーブルに衝撃を与えないこと。透明なプラスチックの部分が白くなり、光度が低減して通信妨害を引き起こす恐れがある。
- ファイバーケーブルは尖ったものに接触しないようにすること。シグナルが弱まる恐れがある。

- 4 **ICM1 装備車**：インフォティメントシステム (ICM2) の新しいコントロールパネルを取り付ける。
- 5 リアシートのバックレストを倒す。

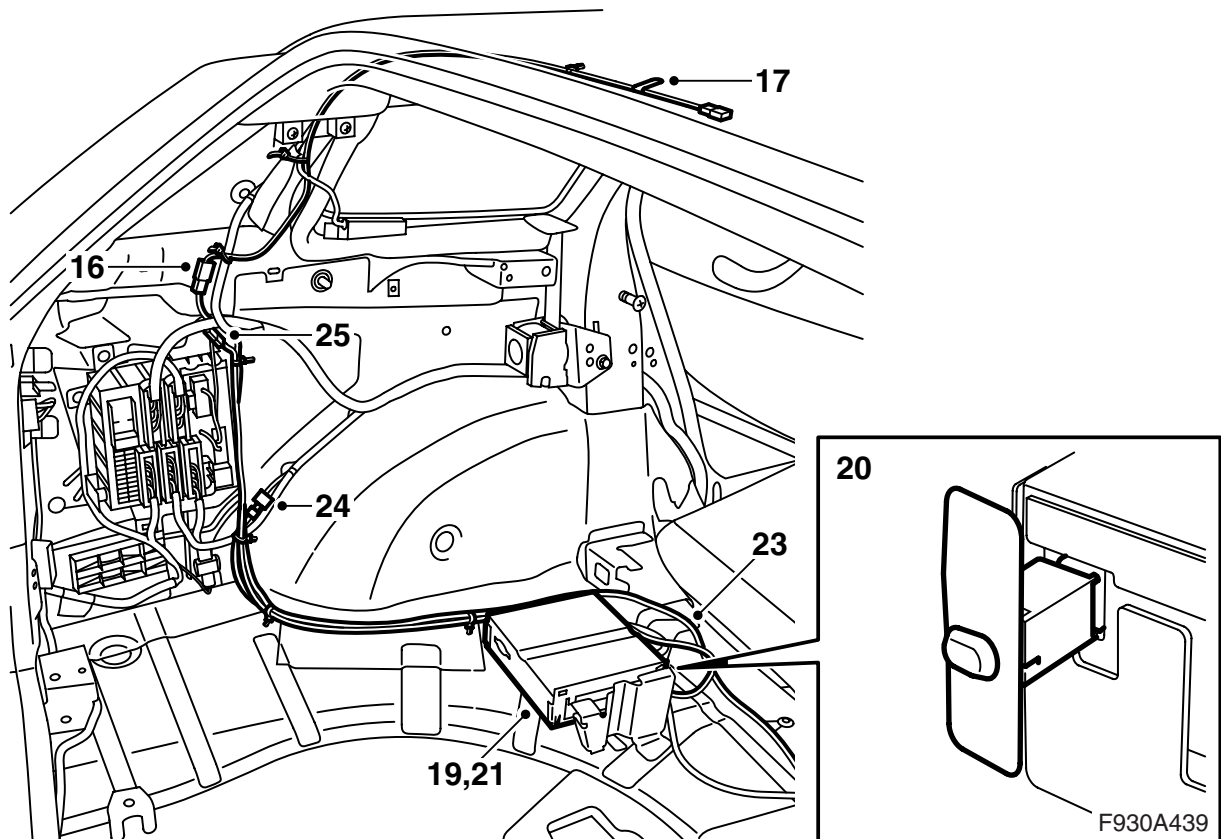


F930A437

- 6 スカッフプレートとトランクルームフロアを取り外す。
- 7 荷物保護が取り付けられていれば取り外す。
- 8 **ステップ8～11は、両側で実行すること（ICM3 装備車では左側のみ）。**
Cピラートリムを取り外す。
- 9 サイドクッションを取り外す。
- 10 リアサイドトリムと収納スペースのカバーを取り外す。
- 11 フォームブロックを取り外す。



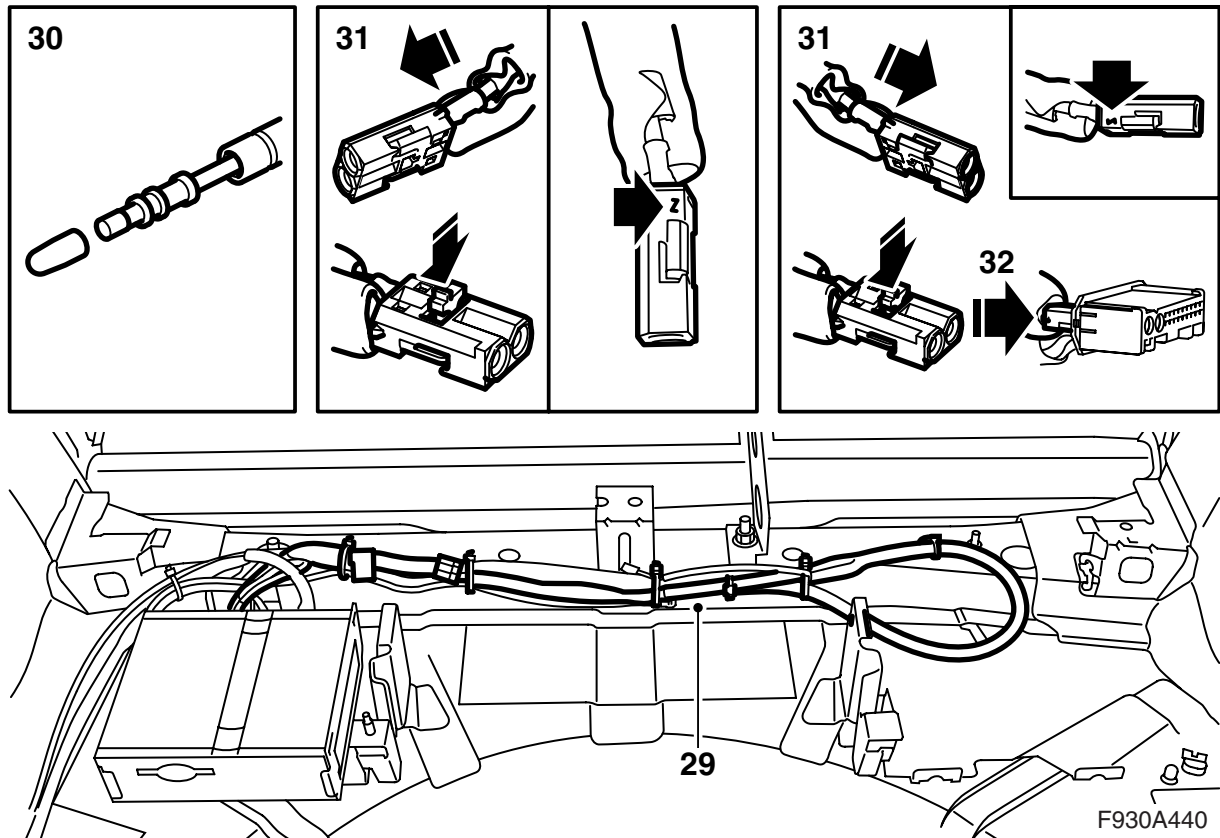
- 12 ヘッドライニングのリアと中央のクリップ（90°回す）と、サイドウィンドー上のホルダーを取り外す。
- 13 サイドウィンドー上のマウンティングを取り外す。
- 14 アンテナに手が届くまでヘッドライニングの後端を慎重に下げる。82 93 474 取り外しツールで、ヘッドライニングをそのままの位置に保持しておく。
- 15 アンテナケーブルが取り付けられていれば、アンテナから取り外す。キット内容のアンテナケーブルをアンテナの紫コネクタに接続する。キット内容のアンテナケーブルを左Dピラーに固定する。



- 16 エレクトリカルセンターの前に、D ピラーに沿って、フロアまで新しいアンテナケーブルを配線する。テレマチックユニットまで、車両のワイヤーハーネスに沿って配線する。
- 17 取り外したケーブルを、新しいケーブルに沿ってテープで固定する。カタカタと音が出ないように、コネクタにテープを巻き付ける。
- 18 ヘッドライニングを取り付ける。
- 19 テレマチックユニットのブラケットを取り外し、コンソール下部をボルトで止める。
- 20 **ナビゲーションを装備していない車両：** 左リアシートのバックレストの後方にテレマチックユニットを取り付ける。ブルートゥースアンテナをテレマチックユニットの黄色いアンテナコネクタに接続する。上部を取り付ける。
- 21 **ナビゲーションを装備した車両：** テレマチックユニットを交換する。ブルートゥースアンテナを移す。
ステップ 69 に進む。
- 22 GSMアンテナケーブルを紫コネクタに接続する。
- 23 テレマチックユニット後方のキット内容のワイヤーハーネスで大型コネクタを見つけ、ハーネスを、左ホイールハウジング横の車両のワイヤーハーネスに沿って、REC まで配線する。
- 24 アクセサリハーネスの2ピンコネクタを、ホイールハウジング横で REC 下の 2 ピンコネクタに接続する。
- 25 アクセサリハーネスの 3 ピンコネクタを、REC 上の 3 ピンコネクタに接続する。
- 26 ケーブルタイで、アクセサリハーネスとアンテナケーブルを、テレマチックユニットまで、車両のワイヤーハーネスに沿って配線する。DVD ユニットのコネクタをテープで固定する。
- 27 **リアアンプ (AMP2) もナビゲーションも装備していない車両：** ステップ 28 に進む。
リアアンプ (AMP2) を装備しているがナビゲーションを装備していない車両： ステップ 51 に進む。

 **警告**

ワイヤーハーネスが挟まれていないことを確認する。誤った取り付けを行うとワイヤーハーネスを損傷し、短絡 / 火災の原因となる場合がある。



28 ステップ 28 ~ 50 は、リアアンプ (AMP2) もナビゲーションも装備していない車両に適用する。

リアアンプの位置から DVD ユニットの位置まで、ワイヤーハーネスを取り外す。

29 接続されていない光ファイバーケーブルがテレマチックユニットに届くように、ハーネスを慎重に曲げる。

33 ワイヤーハーネスの余分なマウンティングを切り取る。AMP2のコネクターを元の位置に曲げる。ケーブルタイでワイヤーハーネスをメンバーに固定する。

重要事項

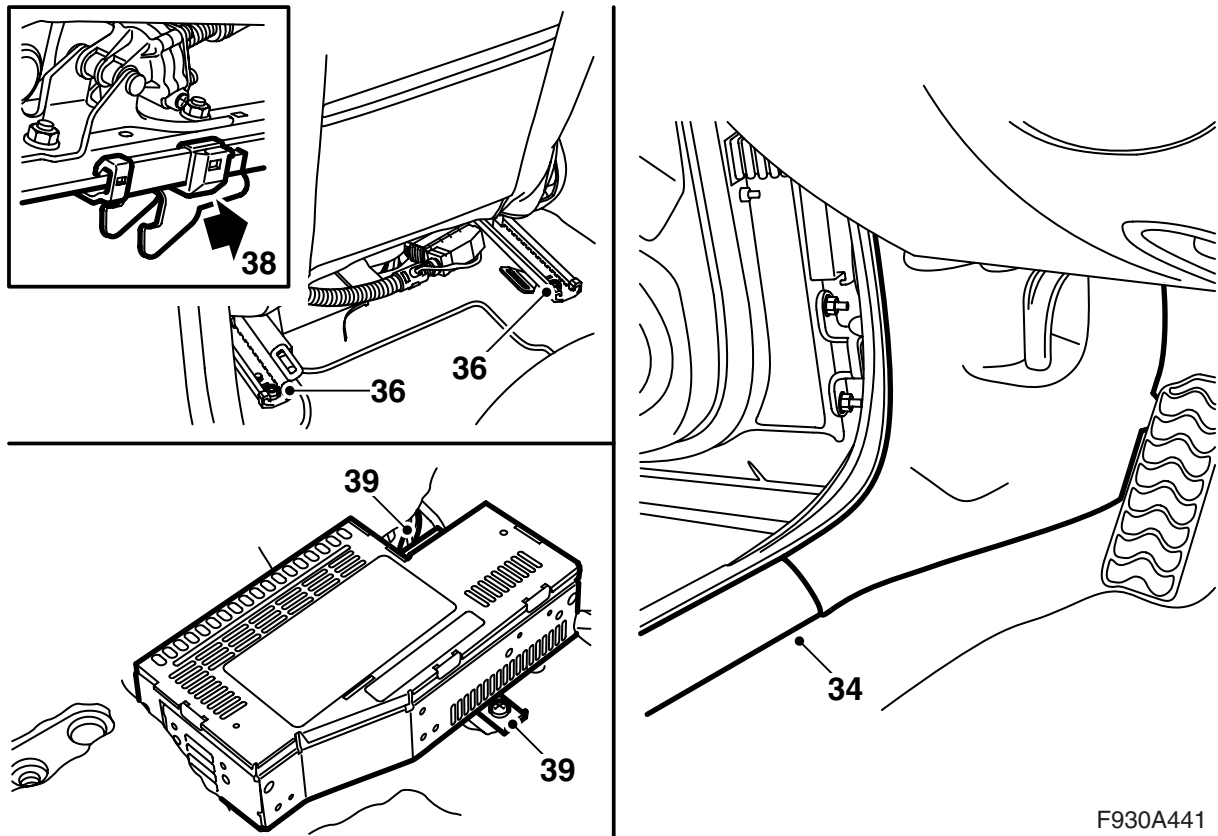
光ファイバーケーブルは、送信シグナルが妨害を受けないよう、注意深く取り扱うこと。

- ファイバーケーブルを半径25 mm以内の範囲で曲げてはならない。
- ファイバーケーブルに衝撃を与えないこと。透明なプラスチックの部分が白くなり、光度が低減して通信妨害を引き起こす恐れがある。
- ファイバーケーブルは尖ったものに接触しないようにすること。シグナルが弱まる恐れがある。

30 光ファイバーケーブルの接続部から、保護カバーを取り外す。

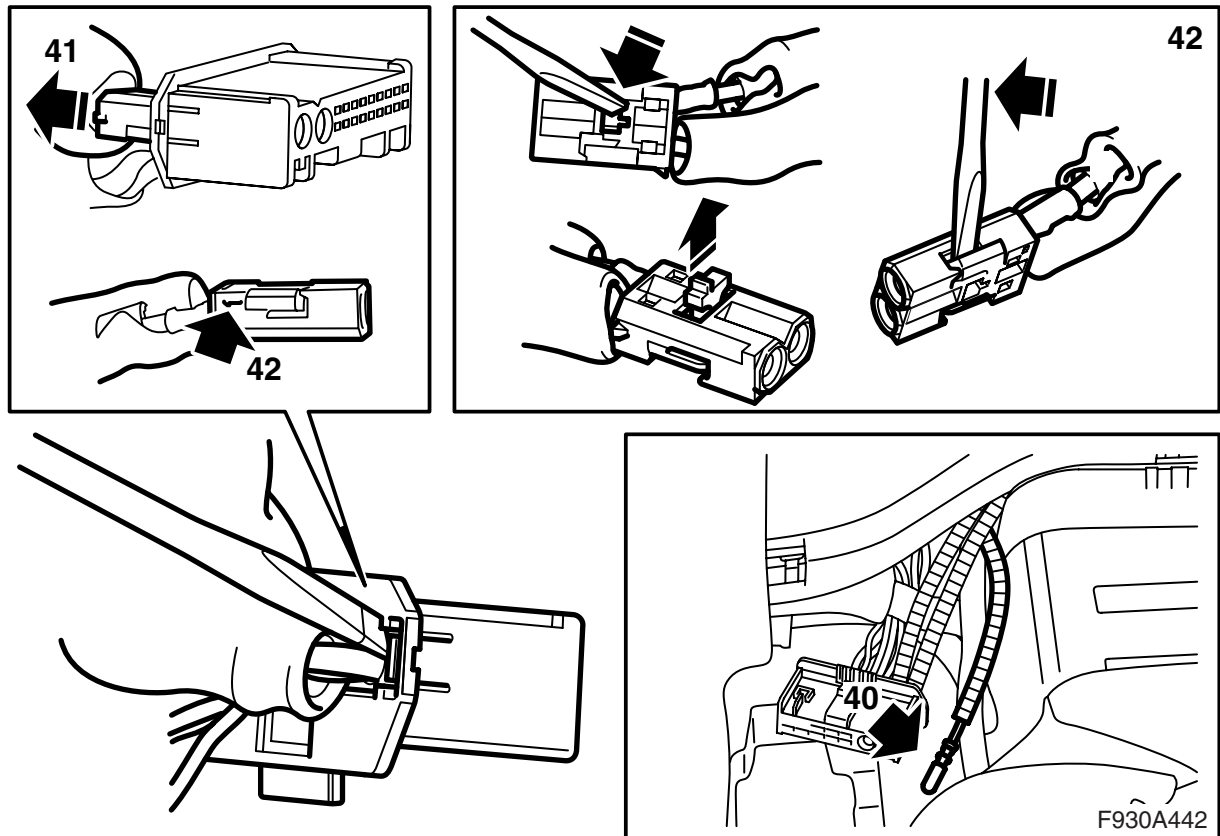
31 緑色のマークがついた光ファイバーケーブルを1の位置に取り付ける。青色のマークがついた光ファイバーケーブルを、キット内容の光ファイバーコネクターの2の位置に取り付ける。ロックングリップを取り付ける。

32 光ファイバーコネクターを、アダプターハーネスのコネクターと一緒にキット内容のコネクターケースに取り付け、テレマチックユニットに差し込む。

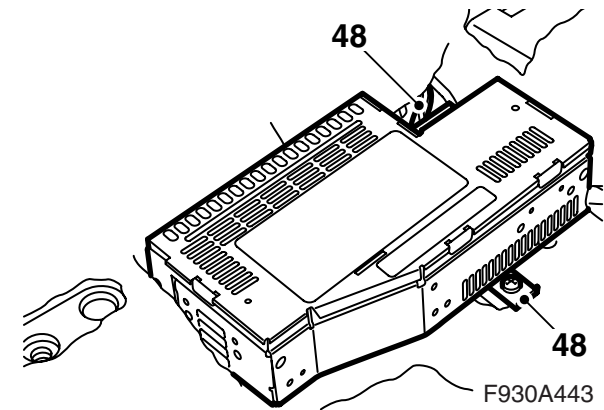
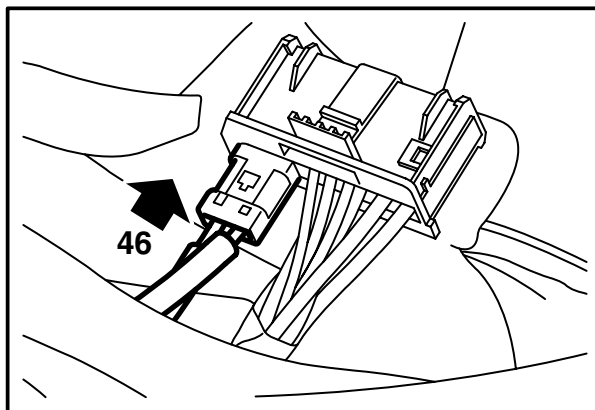
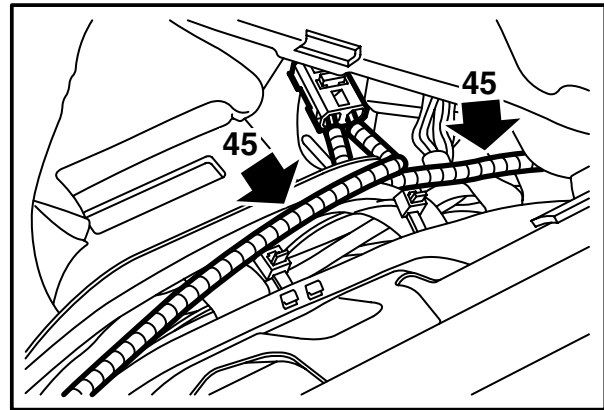
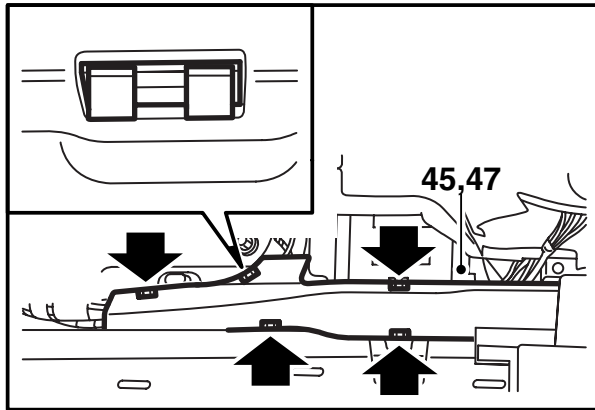


F930A441

- 34 フロントスカッフプレートを車の左サイドから取り外す。
- 35 左フロントシートを前位置にスライドさせバックレストを前に倒す。
- 36 シートからリア取り付けネジ2本を取り外す。
- 37 シートを前方に傾ける。
- 38 シートを後方に引っ張り、各固定フックが所定位置から外れるようにする。シート全体を後方に倒す。
- 39 アンプを取り外す。



- 40 アンプのそばにある、緑色のマークが付いたファイバーケーブルを見つける。
- 41 アンプのコネクターから光ファイバーケーブルのコネクター（小型コネクター）を取り外す。
- 42 1の位置に接続されているファイバーケーブルを、コネクターのロッククリップを開き、キャッチを注意深く持ち上げて取り外す。
- 43 緑色のマークがついた光ファイバーケーブルの接続部から、保護カバーを取り外す。
- 44 取り外したファイバーケーブルの接続部分に保護具を取り付け、ファイバーケーブルを（損傷しないため）注意深くどける。



- 45 ケーブルダクトのカバーを取り外す。緑色のマークがついた光ファイバーケーブルを曲げることができず、アンプの光ファイバーコネクターの1の位置に取り付けられていることを確認する。ロッキングクリップを取り付ける。

重要事項

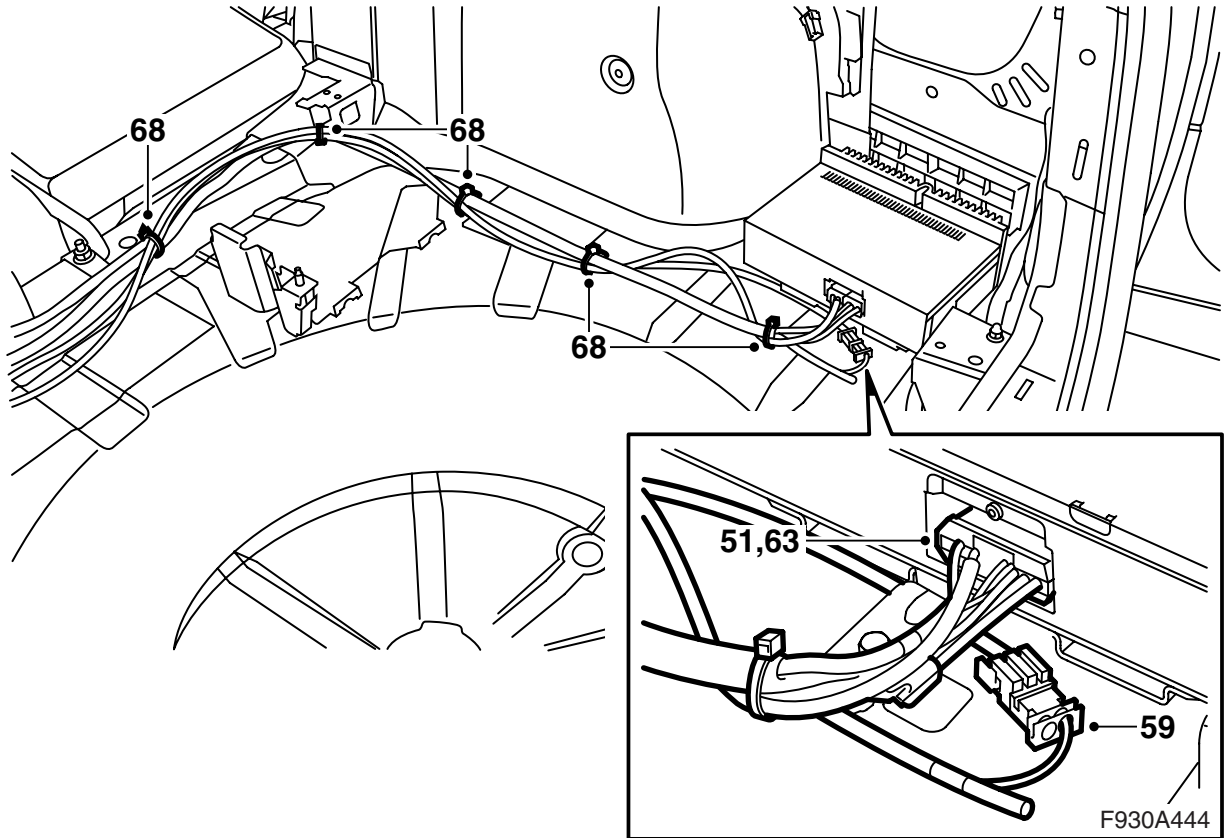
光ファイバーケーブルは、送信シグナルが妨害を受けないよう、注意深く取り扱うこと。

- ファイバーケーブルを半径25 mm以内の範囲で曲げてはならない。
- ファイバーケーブルに衝撃を与えないこと。透明なプラスチックの部分が白くなり、光度が低減して通信妨害を引き起こす恐れがある。
- ファイバーケーブルは尖ったものに接触しないようにすること。シグナルが弱まる恐れがある。

- 46 光ファイバーコネクターを大型コネクターに差し込む。
- 47 ケーブルダクトにリッドを取り付け、マットを元通りに直し、コネクターと各ケーブルをマットの穴から外へ出す。
- 48 アンプを接続し、取り付ける。
- 49 シートを正しい位置にする。固定フックがそれぞれ正しいキャッチにはまるようことをよく確認の上、リア取り付けネジをそれぞれ取り付ける。

締め付けトルク 30 Nm (22 lbf ft)

- 50 ステップ 69 に進む。



51 ステップ 51 ~ 68 は、リアアンプ (AMP2) を装備しているがナビゲーションを装備していない車両に適用する。

リアアンプからコネクタを抜く。

重要事項

光ファイバーケーブルは、送信シグナルが妨害を受けないよう、注意深く取り扱うこと。

- ファイバーケーブルを半径25 mm以内の範囲で曲げてはならない。
- ファイバーケーブルに衝撃を与えないこと。透明なプラスチックの部分が白くなり、光度が低減して通信妨害を引き起こす恐れがある。
- ファイバーケーブルは尖ったものに接触しないようにすること。シグナルが弱まる恐れがある。

- 52 アンプのコネクタから光ファイバーケーブルのコネクタ (小型コネクタ) を取り外す。
- 53 1の位置に接続されているファイバーケーブルを、コネクタのロッククリップを開き、キャッチを注意深く持ち上げて取り外す。
- 54 1の位置の光ファイバーを、キット内容の光ファイバーコネクタに取り付ける。
- 55 ロッキングクリップを取り付ける。
- 56 1本の追加ファイバーケーブルの接続部からカバーを取り外す。

57 1の位置の光ファイバーを、キット内容の光ファイバーコネクタに取り付ける。

58 ロッキングクリップを取り付ける。もう一方の端の目印として、テープを貼り付ける。

59 コネクタを互いに接続する。

60 2番目の追加ファイバーケーブルの接続部からカバーを取り外す。

61 1の位置の光ファイバーを、AMP2の光ファイバーコネクタに取り付ける。

62 ロッキングクリップを取り付ける。

63 光ファイバーコネクタを大型コネクタに差し込み、アンプに差し込む。

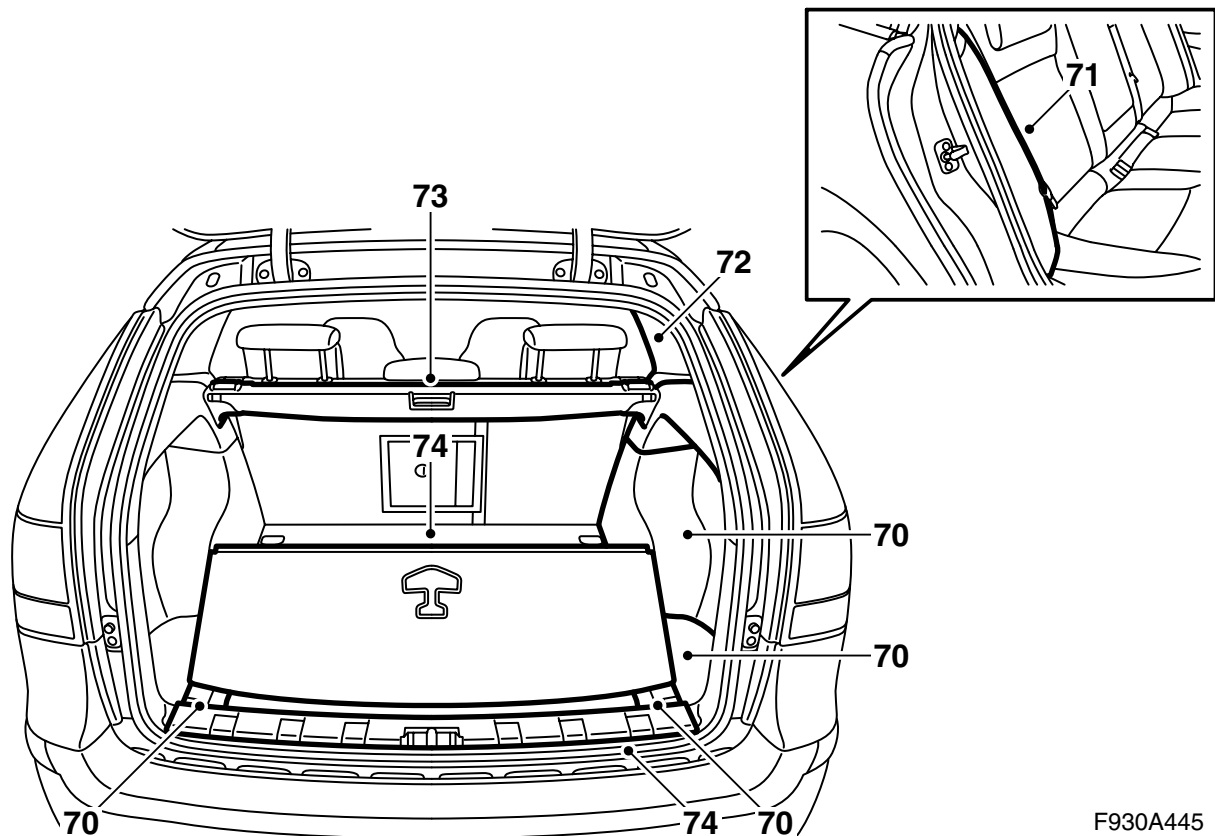
64 光ファイバーケーブルは、両方とも、テレマチックユニットに離して配線すること。

65 光ファイバーケーブルのカバーを取り外し、テープで目印を付けた光ファイバーケーブルを1の位置に接続し、マークの付いていない光ファイバーケーブルをキット内容の光ファイバーコネクタの2の位置に接続する。

66 ロッキングクリップを取り付ける。

67 光ファイバーコネクタを、アクセサリハーネスのテレマチックユニット用コネクタと一緒にキット内容のコネクタケースに取り付け、テレマチックユニットに差し込む。

68 ケーブルタイで、光ファイバーケーブルを固定する。テレマチックユニットから作業を始める。余分な長さを、AMP2横のリングに引き入れる。



F930A445

69 ステップ 69 ~ 72 は、両側で実行すること (ICM3 装備車では左側のみ)。

フォームブロックを取り付ける。

70 リアサイドトリムと収納スペースのカバーを取り付ける。

71 サイドクッションを取り付ける。ベルトがねじれていないことを確認する。

72 Cピラートリムを取り付ける。

73 荷物保護が取り付けられていた場合には、それを取り付ける。

74 トランクルームフロアとスカッフプレートを取り付ける。リアシートを立て、ロックされていることを確認する。

75 診断ツールを接続し、車のモデルと年式を選択し、「全て」を選択し、「追加と削除」を選択して、現在の交換 / 新品ユニットを選択し、「追加」を選択する。

注記

診断ツールは、場合によって TIS セーフティコードを必要とすることがある。このコードの入手方法は、診断ツールのディスプレイに表示される。

76 システムの機能を点検する。